

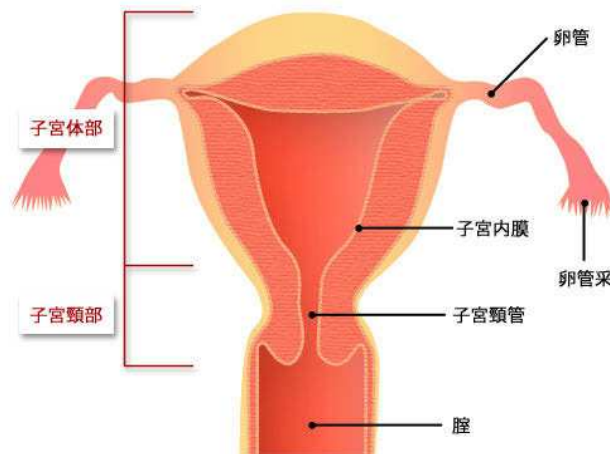
～ 子宮頸がん検査について ～

子宮がんには、がんが発生する場所によって「子宮頸がん」と「子宮体がん」に分けられます。

- ・ 子宮頸がん : 子宮入口の頸部に発生する癌です。
子宮がん全体の60～70%を占め、20～30代に 増えています。
主な原因:HPV感染
- ・ 子宮体がん : 子宮の奥の子宮体部に発生する癌です。
50～60代に多く発生します。
主な原因:エストロゲン(女性ホルモン)による長期的刺激

当センターでは、「子宮頸がん検査」のみの実施になります。

*子宮体がんの検査をご希望の場合は、お近くの婦人科にお問い合わせください。



～ HPVについて ～

HPVは、ヒトパピローマウイルス(Human Papilloma Virus)の略です。人の皮膚や粘膜に感染するウイルスで、100種類以上のタイプがあります。このうちの約15種類が子宮頸部がんの原因となることが多いので、発がん性HPVと呼ばれています。

子宮頸がんはHPV感染が原因とされており、HPVは性交渉により誰もが感染し得るウイルスです。90%程度は感染しても2年以内に自然治癒しますが、持続(長期に断続的に)感染した場合はがんの前段階を経て子宮頸がんが発症しやすくなります。